

## 「変形性膝関節症の膝関節伸展筋力と歩行速度の関係についての 後ろ向き研究」のお知らせと調査協力をお願い

当院では以下の臨床研究を行っております。

### 【研究課題】

変形性膝関節症の膝関節伸展筋力と歩行速度の関係についての後ろ向き研究

### 【研究の概要、背景、目的】

本研究では、変形性膝関節症を対象に、膝関節伸展筋力と歩行速度の関係を調査します。変形性膝関節症では、膝関節伸展筋力が低下し、歩行能力が低下することが明らかになっています。膝関節伸展筋力の測定には、いくつかの方法があります。また、測定によって得られる筋力値にも、いくつかの種類があります。そして、測定方法や筋力値の違いが歩行速度におよぼす影響度については、不明確な点が残っています。当院では過去に等尺性と等速性と呼ばれる方法で筋力測定を実施し、種々の筋力値を計測してきました。この過去に計測されたデータを用いれば、より歩行速度に影響を及ぼしやすい測定方法と筋力値が明らかになる可能性があります。

本研究の目的は、変形性膝関節症を対象に、膝関節伸展筋力の測定方法と筋力値の違いが、歩行速度におよぼす影響を明らかにすることです。

### 【研究の期間】

2021年11月1日 ～ 2024年3月31日

(データ収集は2021年11月1日～2023年3月31日)

### 【研究対象】

対象者：人工膝関節置換術を受けるために入院された変形性膝関節症患者

選択基準：歩行自立している方

除外基準：10m歩行中に休憩が必要であった方

### 【研究の方法】

当院のリハビリテーションでは、人工膝関節置換術を受ける前に術前測定が行われています。本研究では、その測定結果を部分的に2次利用し、研究を行います。

### 【2次利用する情報】

- ・ 基本情報（年齢、性別、身長、体重）
- ・ 医学的情報（診断名、既往歴、治療経過）

- ・ 膝関節筋力（等尺性と等速性）
- ・ 10m歩行時間
- ・ 歩行時痛
- ・ 膝関節可動域

**【予想される利益、不利益】**

利益として、歩行速度と関連が強い筋力測定方法と筋力値が明らかになり、歩行速度改善に役立てることが出来ます。本研究はデータを 2 次利用するものです。本研究の実施に伴い、新たに生じる不利益はありません。

**【個人情報の取り扱いについて】**

本研究の成果を学術目的のために学会や論文で公表する際には、個人情報を厳重に守り、個人が特定できる情報は使用しません。

**【研究協力の自由について】**

研究への協力は自由意志であり、拒否をされた場合でも不利益はありません。協力を希望されない場合は、お手数をおかけしてしまい申し訳ありませんが、ご連絡をお願いいたします。

**【利益相反について】**

本研究に開示すべき利益相反はありません。

**【研究責任者連絡先】**

総合病院土浦協同病院

リハビリテーション部 蛭原文吾

電話 029-830-3711（代表）